

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究への協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

新型バルーンカテーテルを用いた超音波内視鏡下胆道ドレナージの有用性	
1. 研究の対象および研究対象期間	2023年1月1日から2024年9月30日に昭和大学藤が丘病院で頭新型バルーンを用いて超音波内視鏡下胆道ドレナージを施行した患者さんのうち、診断時の年齢が18歳以上である患者さんが対象となります。
2. 研究目的・方法	超音波内視鏡下胆道ドレナージは従来用いられていた経乳頭的胆道ドレナージ不成功例に対する救済手技として普及しております。しかしまだその手技は確立しておらず、穿刺後の経路拡張に難渋することがあり、拡張に適したデバイスの確立が求められています。超音波内視鏡下胆道ドレナージ用に新型バルーンカテーテルが発売され、従来のバルーンカテーテルよりバルーン長が長く(6cm)胃壁・肝実質・肝内胆管を同時に拡張できるため、手技時間の短縮や偶発症の低減に寄与する可能性があります。超音波内視鏡下胆道ドレナージにおける新型バルーンの有効性を明らかにするために研究を行います。
3. 研究期間	昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年12月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類	患者背景(性別、年齢、診断名、入院日、退院日、在棟期間、入院期間、転帰)、穿刺針の種類、穿刺回数、手技時間、留置したステントの種類、偶発症
5. 外部への試料・情報の提供	該当いたしません。
6. 研究組織	研究責任者 研究機関名 昭和大学藤が丘病院 氏名 高野 祐一

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院 消化器内科 氏名：高野 祐一

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30 電話番号：045-971-1151(内線 2167)